

2022 年 5 月 8 日 母の日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時から録画を視聴できます。

5月8日	母の日礼拝
前奏	
招詞	イザヤ書43章1節
「恐れるな。わたしがあなたを贖ったからだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたは、わたしのもの。」アーメン	
会衆賛美	聖歌25(1〜4節)
会衆賛美	神の国と神の義を(1回)
主の祈り	
交読	詩篇103篇1〜5節
礼拝祈禱	
使徒信条	
聖書朗読	ヤコブの手紙 5章1〜11節
説教	忍耐と希望 荻野泰弘牧師
会衆賛美	聖歌518(1〜4節)
献金	
頌栄	聖歌376
祝祷	
報告	
後奏	
感謝祈禱	

■聖歌 25 「み神の愛をば」(1～4節)

- ①御神の愛をば歌うわれらの 胸は開きたり 花のごとくに
御顔の光に迷いの霧も 疑いの雲も消えてあとなし
- ②御使い 聖徒ら 歌え みいつを 月・星・太陽 たたえよ神を
雪ふる たかねも 花咲く谷も 林も野原も 砂漠も海も
- ③み神は罪ある 者をも愛し み子なるイエスをば つかわしませり
ゆるしの み恵み きよむる力 ふでにも 声にも のべつくしえず
- ④み神は われらの 父親なれば み子なるイエスをば 兄上とよばん
よびとよ 親しみ 互いに助け みむねのなる日を しのび待てかし

■「神の国と神の義を」

神の国と神の義を　まず求めなさい
 そうすればみな与えられる　ハレル　ハレルヤ

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名^{みな}をあがめさせたまえ。御国^{みくに}をきたらせたまえ。御心^{みこころ}の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用^{にちよう}の糧^{かて}を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを こころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇 103 篇 1～5 節

- 1 わがたましいよ 主をほめたたえよ。
私のうちにあるすべてのものよ
聖なる御名をほめたたえよ。
- 2 わがたましいよ 主をほめたたえよ。
主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな。
- 3 主は あなたのすべての咎を赦し
あなたのすべての病を癒やし
- 4 あなたのいのちを穴から贖われる。
主は あなたに恵みとあわれみの冠をかぶらせ
- 5 あなたの一生を 良いもので満ち足らせる。
あなたの若さは 鷲のように新しくなる。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 ヤコブの手紙 5 章 1～11 節

- 1 金持ちたちよ、よく聞きなさい。迫り来る自分たちの不幸を思って、泣き叫びなさい。
- 2 あなたがたの富は腐り、あなたがたの衣は虫に食われ、
- 3 あなたがたの金銀はさびています。そのさびがあなたがたを責める証

言となり、あなたがたの肉を火のように食い尽くします。あなたがたは、終わりの日に財を蓄えたのです。

- 4 見なさい。あなたがたの畑の刈り入れをした労働者への未払い賃金が、叫び声をあげています。刈り入れをした人たちの叫び声は、万軍の主の耳に届いています。
- 5 あなたがたは地上でぜいたくに暮らし、快樂にふけり、屠られる日のために自分の心を太らせました。
- 6 あなたがたは、正しい人を不義に定めて殺しました。彼はあなたがたに抵抗しません。
- 7 ですから、兄弟たち。主が来られる時まで耐え忍びなさい。見なさい。農夫は大地の貴重な実りを、初めの雨や後の雨が降るまで耐え忍んで待っています。
- 8 あなたがたも耐え忍びなさい。心を強くしなさい。主が来られる時が近づいているからです。
- 9 兄弟たち。さばかれることがないように、互いに文句を言い合うのはやめなさい。見なさい。さばきを行う方が戸口のところに立っておられます。
- 10 兄弟たち。苦難と忍耐については、主の御名によって語った預言者たちを模範にしなさい。
- 11 見なさい。耐え忍んだ人たちは幸いだと私たちは思います。あなたがたはヨブの忍耐のことを聞き、主によるその結末を知っています。主は慈愛に富み、あわれみに満ちておられます。

■聖歌 5 1 8 「みことばなる」(1～4 節)

- ①みことばなる 光のうち 主とともに歩まば
ゆく道すじ 照らしたまわん より頼むわれらに

※げに 主は より頼みて したごう者を 恵みたまわん

- ②みかおの笑み かがやく時 くも きりは 消えゆき
うたがいなく うれしいも なし より頼むわれらに

- ③祭壇にゆき 身も心も ささぐると同時に
喜びをば 満たしたまわん より頼むわれらに

- ④いかに きよき まじわりぞや さまたぐる ものなし
昼も 夜も 臨在あり より頼む われらに

■頌栄 聖歌 376 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈禱 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン」